

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

市民経済部クリーンセンター

市民経済部長 出口 久浩

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
14-002	ごみ処理事業	なし	B	ごみ処理施設業務委託業者と連携し、施設の適切な維持管理に努めることができた。ごみ処理においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛に伴うごみの増加や、令和3年度からの家庭系ごみ有料化開始に伴う駆け込み排出でごみ量が急増したことにより、ピットが満杯になり、最終処分場への仮置きが生じた。	現状維持	知多南部広域環境組合による新施設が稼働する令和4年4月までの間、現施設において、ごみ処理を安定かつ適正に処理していく必要がある。今後も、機器等の日常点検や定期補修を始め、環境分析測定や電気保安管理などの各種維持管理業務を継続する。
14-004	ごみ焼却処理施設補修事業	あり	B	焼却施設へのごみ搬入量が昨年より増加したものの、焼却施設の補修整備を実施し、可燃ごみを適正に焼却処理することができた。知多南部広域環境組合による新施設が稼働する令和4年4月までの間、本施設でごみ焼却処理を行う必要がある。	現状維持	新施設が稼働するまでの間は、故障等により施設が停止することのないよう、補修計画に基づいた補修を行い、適切にごみ焼却処理を行う。
14-005	粗大ごみ処理施設補修工事	あり	B	破碎施設へのごみ搬入量が昨年より増加したものの、粗大ごみ施設の補修整備を実施し、不燃ごみ及び粗大ごみを適正に破碎処理することができた。知多南部広域環境組合による新施設が稼働する令和4年4月までの間、本施設で粗大ごみ等の処理を行う必要がある。	現状維持	新施設が稼働するまでの間は、故障等により施設が停止することのないよう、補修計画に基づいた補修を行い、適切に不燃ごみ及び粗大ごみ処理を行う。
14-006	最終処分場施設補修事業	あり	B	汚水処理施設の補修整備を実施し、最終処分場からの浸出水を廃棄物処理法の管理基準値以下で河川に放流することができた。今後も適正に施設の維持管理を行い、環境汚染の防止に努める。	現状維持	経年使用による劣化、摩耗損傷している各種設備機器類を日常点検等で把握し、補修計画に基づいた補修を行うことで、浸出水を廃棄物処理法の管理基準値以下で放流する。
14-009	し尿処理事業	なし	C	市内全域のし尿収集運搬を委託し、収集したし尿を適切に処理することができた。成果指標の水洗化率については、目標値の達成には至らなかったが、市内の下水道への接続及び合併処理浄化槽への切替えが進んだ結果、し尿汲取世帯は89世帯減少することができた。衛生環境を保持するため、今後もより一層市報やホームページ等で、し尿汲取り世帯の浄化槽への切替えを啓発していく。	改善推進	し尿のみを処理する単独浄化槽では、家庭からの生活雑排水が処理されずに排水され、悪臭や水質汚濁の原因になるため、合併処理浄化槽のメリットを市報やホームページでPRし、切り替えを促進していく。また、浄化槽設置済みの世帯への浄化槽の適切な維持管理について啓発を行う。
14-011	ごみ収集運搬事業	なし	C	委託収集業務を計画的に実施したことで、家庭から排出されるごみや資源を適正、かつ速やかに収集し、処理することができた。一方、ごみステーションへの不適正な排出については、目標値は達成できなかった。自治区や住民と連携して、看板などによる注意喚起を行い、不適正排出の未然防止に努める。	改善推進	安全・円滑・効率よく適切な収集業務を実施することにより、家庭ごみや資源の適正処理と街の美化に努める。令和3年4月から開始した家庭系ごみの有料化により、指定ごみ袋が変更になったため、適正にごみを収集できるように委託業者と連携を強化していく。
14-012	ごみステーション整備事業	なし	B	折り畳み式のごみステーションなどそれぞれの場所に適したごみステーションを設置することにより、住民の要望に対してきめ細やかな対応ができた。ごみステーション未設置の既存アパートについても、地域の実情に応じて新たにごみステーションを設置するよう働きかけ、15箇所設置をした。	改善推進	自治区や地域住民の理解と協力を求めながら、ごみステーションを適正に配置する。また、3Rアドバイザーや自治区をはじめとした地域住民、ごみ収集を行う委託業者との連携を図り、情報把握に努める。そして、ごみステーションの新設や修繕などの対応を迅速に行い、清潔な環境を維持する。

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
14-015	有価資源回収奨励事業	なし	D	新型コロナウイルス感染拡大の影響により集団資源回収の活動が控えられたため、回収量が前年と比較して大幅に下がり、目標値には及ばなかった。紙類や古着を始めとする資源類の相場が下落傾向にあるため、今後も安定的なりサイクルルートの確保が課題。集団資源回収に参加できない住民向けに、公共資源回収ステーションをPRしていく。	改善 推進	多くの市民に資源を正しく分別してもらえるよう、「ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」に資源回収の状況、正しい出し方などを掲載するなど、アプリの内容を充実させる。また、公共資源回収ステーションを周知することにより、資源化の推進を図る。
14-016	ごみ減量対策事業	なし	D	令和3年4月からの家庭系ごみ有料化導入にあたり、地域で説明会等を46回開催するなど制度の周知に努めた。家庭系ごみ有料化直前の駆け込みのごみ出しや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛に伴うごみの増加により、総ごみ量、生活系ごみ量ともに大きく増えた。市報などが届かない自治区未加入者や若い世代の市民にも届くPR方法を取り入れ、ごみ減量や資源化への意識を持ってもらえるよう取り組むことが課題である。	改善 推進	令和3年4月から導入した家庭ごみの有料化を機に、ごみの正しい出し方、資源の分別方法を市民に周知し、ごみに対する意識を高められるようにする。また、動画配信やSNS等の手段を用いて広報することで、ごみの減量及び資源化の推進を図る。
課等長	1次評価(令和2年度の総括評価)					
	ごみの収集及び処理業務については、委託事業者と連携を密にとり、街の美化と環境保全のため適切な処理が実施できた。					
C	ごみステーション及びごみ処理施設については、適切に補修・修繕が実施できた。 ごみの量については、家庭系ごみ有料化直前の駆け込みのごみ出しより大幅に増加した。家庭系ごみ有料化制度を周知することにより、一層のごみ減量意識の向上を図る必要がある。令和元年から開始した公共資源回収ステーション及び刈草・剪定枝の資源化については、令和2年度は回収量が大幅に増加したため、引き続き周知を行う。 また、各区や子ども会等の集団資源回収団体が実施する資源回収量については、コロナウイルス感染拡大の影響から実施を見送る団体もあり、回収量が減少した。 し尿処理事業については、前年度より水洗化率は向上したものの、目標を達成することができなかった。 総括として、おおむね目標どおり遂行していると判断する。					
部等長	2次評価(令和2年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
	ごみ及び資源の収集、処理業務については、委託業者と連携をとり、適正に実施できた。					
C	ごみステーションの整備については、街の美化及び公衆衛生向上のため、各地域の要望に対し素早く、適切な対応をしている。今後もごみステーションの良好な環境の保全に努めること。 ごみ減量事業については、令和3年4月から導入する家庭系ごみ有料化を周知するため、コロナ禍においても区長はじめ市民の協力を得て、各地域で説明会等を46回開催でき、約1,100人の方に参加していただけた。今後も積極的に現場に向いて多くの市民に理解されるよう努めること。 ごみ減量事業及び有価資源回収事業は目標が達成できなかったため、より一層ごみと資源の分別啓発に努めること。また、家庭系ごみ有料化が開始されたため、ごみ減量について市民への積極的な情報提供や、生ごみ処理機・堆肥化容器の補助制度の周知を図るなど、より一層ごみと資源の分別啓発を推進すること。 施設の管理については、計画的な補修及び修繕が実施できており、新施設(知多南部広域環境センター)の供用開始まで、適正なごみ処理が継続できるよう、維持管理に努めること。					